



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社BSNメディアホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9408 URL <https://www.ohbsn.com/holdings/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局長 (氏名) 和田 泰征 TEL 025-267-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,320	6.3	203	△37.0	280	△29.2	182	△9.1
2025年3月期第1四半期	5,004	3.5	323	92.9	396	78.6	200	76.7

(注) 包括利益2026年3月期第1四半期 618百万円 (211.2%) 2025年3月期第1四半期 292百万円 (49.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	30.42	—
2025年3月期第1四半期	33.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	33,068	26,060	74.8	4,123.09
2025年3月期	33,314	25,489	72.6	4,032.79

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 24,754百万円 2025年3月期 24,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	△2.8	1,464	△15.0	1,605	△15.4	959	△8.3	159.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,000,000株	2025年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,215株	2025年3月期	1,215株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	5,998,785株	2025年3月期1Q	5,998,785株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	7
（会計方針の変更）	7
（追加情報）	7
（四半期連結貸借対照表に関する注記）	7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	7
（セグメント情報等の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善などを背景に、概ね穏やかな回復基調となりました。一方で資源価格の高騰や物価上昇の長期化、米国の通商政策による世界経済の下振れリスクなど、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めました。当第1四半期連結累計期間における売上高は53億2千万円(前年同期比6.3%増)となりました。

一方、利益面におきましては、営業利益は2億3百万円(前年同期比37.0%減)、経常利益は2億8千万円(前年同期比29.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益では1億8千2百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

[放送事業]

放送事業におきましては、ラジオ、テレビともに番組提供のスポンサーから得られるローカルタイム収入が減少したものの、スポット広告収入は好調に推移しました。その他収入は5月に開催したプロ野球公式戦が順調に売上高を伸ばしました。利益面におきましては、人件費の増加等により、前年同期に比べて減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は14億2千4百万円(前年同期比0.5%増)となり、営業利益は2千9百万円(前年同期比37.3%減)となりました。

[システム関連事業]

システム関連事業におきましては、首都圏の開発案件が好調で、県内民需分野においても大型の機器販売案件などが順調に推移し、前年同期に比べて増収となりました。一方で、人件費や外注費の増加、その他経費の値上がりなどにより営業費用が増加し、営業利益は減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は35億8千2百万円(前年同期比8.2%増)となり、営業利益は1億5千3百万円(前年同期比39.6%減)となりました。

[建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、プロモーション部門で新規スポンサーの広告出稿や指定管理業務が好調に推移したほか、施設管理部門では、新規の設備管理業務や商業施設の改修調査、管理受託先の復旧工事などを受注した結果、売上高・営業利益共に前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4億2千9百万円(前年同期比7.7%増)となり、営業利益は1千4百万円(前年同期比44.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は330億6千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億4千5百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が153億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6千8百万円減少しております。これは主に現金及び預金が20億6千3百万円、棚卸資産が1億9千8百万円、その他の流動資産が4千9百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が29億4千5百万円減少したことなどによります。固定資産は176億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億2千3百万円の増加となりました。これは有形固定資産が1億6千1百万円減少したものの、無形固定資産が4百万円、投資その他の資産が5億7千9百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債が42億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて9億1千9百万円減少しております。これは主に賞与引当金が2億7千6百万円増加いたしました。未払金が6億9千6百万円、未払法人税等が3億3千8百万円、その他の流動負債が4千9百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は27億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億3百万円の増加となりました。これは主にリース債務が5千7百万円減少したものの、繰延税金負債が1億8千4百万円増加したことなどによります。

純資産は260億6千万円となり、前連結会計年度末に比べて5億7千万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億4千万円、その他有価証券評価差額金が4億2千7百万円、非支配株主持分が7百万円増加したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は74.8%となり、前連結会計年度末に比べて2.2ポイント増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,054,690	11,117,826
受取手形、売掛金及び契約資産	5,790,290	2,844,894
有価証券	40,012	—
商品	311,653	244,001
原材料	26,654	26,862
仕掛品	264,907	530,914
その他の流動資産	574,191	624,152
貸倒引当金	△7,943	△3,052
流動資産合計	16,054,457	15,385,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,982,023	2,956,066
機械装置及び運搬具（純額）	933,832	862,569
土地	2,633,210	2,633,210
リース資産（純額）	727,534	655,259
その他（純額）	85,957	94,407
有形固定資産合計	7,362,558	7,201,514
無形固定資産	244,989	249,721
投資その他の資産		
投資有価証券	6,304,074	6,847,830
退職給付に係る資産	2,358,012	2,360,006
繰延税金資産	409,639	410,672
その他の投資及びその他の資産	606,372	638,828
貸倒引当金	△25,595	△25,408
投資その他の資産合計	9,652,502	10,231,929
固定資産合計	17,260,050	17,683,165
資産合計	33,314,508	33,068,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	2,839,898	2,142,982
短期借入金	367,000	367,000
リース債務	323,092	294,187
未払法人税等	418,555	80,499
未払消費税等	211,869	190,393
契約負債	116,146	122,175
賞与引当金	456,148	732,435
役員賞与引当金	19,800	—
受注損失引当金	90,000	90,000
製品保証引当金	68,200	20,900
その他の流動負債	240,703	190,868
流動負債合計	5,151,413	4,231,441
固定負債		
長期借入金	110,500	106,250
役員退職慰労引当金	144,964	122,373
退職給付に係る負債	248,051	252,644
リース債務	548,162	490,236
繰延税金負債	1,597,835	1,782,566
その他の固定負債	23,728	22,482
固定負債合計	2,673,242	2,776,553
負債合計	7,824,655	7,007,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,778,801	1,778,801
利益剰余金	19,830,517	19,971,024
自己株式	△974	△1,075
株主資本合計	21,908,343	22,048,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013,687	2,441,464
退職給付に係る調整累計額	269,825	264,642
その他の包括利益累計額合計	2,283,512	2,706,106
非支配株主持分	1,297,995	1,305,912
純資産合計	25,489,852	26,060,769
負債純資産合計	33,314,508	33,068,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,004,952	5,320,020
売上原価	3,527,178	3,915,050
売上総利益	1,477,774	1,404,969
販売費及び一般管理費	1,154,540	1,201,417
営業利益	323,233	203,552
営業外収益		
受取利息	565	4,036
受取配当金	64,490	73,446
受取賃貸料	1,207	1,250
その他	13,390	4,337
営業外収益合計	79,653	83,070
営業外費用		
支払利息	3,505	3,666
その他	2,798	2,043
営業外費用合計	6,304	5,709
経常利益	396,581	280,913
特別利益		
投資有価証券売却益	2,464	1,604
特別利益合計	2,464	1,604
特別損失		
固定資産除却損	203	191
投資有価証券売却損	6,348	—
特別損失合計	6,551	191
税金等調整前四半期純利益	392,494	282,326
法人税等	133,862	86,362
四半期純利益	258,631	195,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,826	13,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,805	182,498

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	258,631	195,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,545	427,623
退職給付に係る調整額	△21,411	△5,182
その他の包括利益合計	34,133	422,441
四半期包括利益	292,765	618,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,617	605,092
非支配株主に係る四半期包括利益	58,147	13,312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

被保証者	前連結会計年度 (2025年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)	
	連帯保証額	連帯保証限度額	連帯保証額	連帯保証限度額
(株)新潟放送従業員	18,316千円	(100,000千円)	18,316千円	(100,000千円)
計	18,316 "	(100,000 ")	18,316 "	(100,000 ")

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	219,400千円	223,165千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関 連事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサ ービス	1,386,417	1,513,049	211,382	3,110,849	—	3,110,849
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	16,857	1,782,323	94,921	1,894,102	—	1,894,102
顧客との契約から生じる収益	1,403,274	3,295,373	306,303	5,004,952	—	5,004,952
外部顧客への売上高	1,403,274	3,295,373	306,303	5,004,952	—	5,004,952
セグメント間の内部売上高又 は振替高	13,877	15,765	92,601	122,244	△122,244	—
計	1,417,152	3,311,138	398,905	5,127,197	△122,244	5,004,952
セグメント利益	47,175	253,617	9,908	310,701	12,531	323,233

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	システム関 連事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,396,243	1,680,973	235,097	3,312,314	—	3,312,314
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	12,650	1,888,432	106,622	2,007,705	—	2,007,705
顧客との契約から生じる収益	1,408,894	3,569,405	341,720	5,320,020	—	5,320,020
外部顧客への売上高	1,408,894	3,569,405	341,720	5,320,020	—	5,320,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,796	13,169	87,899	116,865	△116,865	—
計	1,424,690	3,582,574	429,620	5,436,885	△116,865	5,320,020
セグメント利益	29,599	153,084	14,316	196,999	6,552	203,552

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。